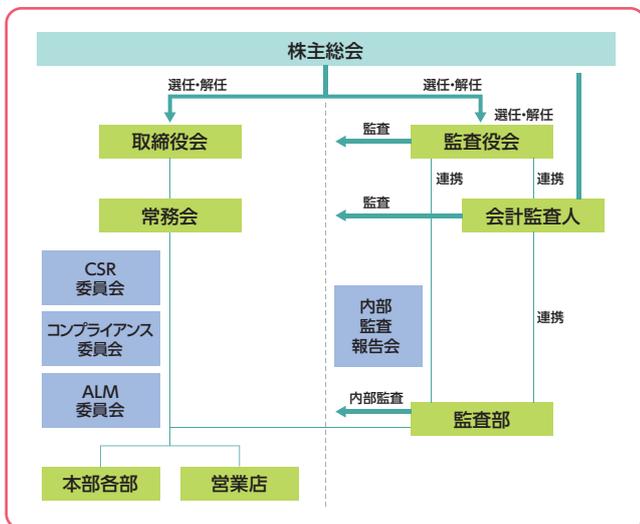


自己責任経営の実践

「地域社会との共存共栄」を経営理念とする当行は、長期的かつ持続的な企業価値向上のため、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。

コーポレート・ガバナンス (企業統治)

経営の健全性・効率性・透明性を高めるために、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の重要課題としています。具体的には、リスク管理体制や法令等遵守態勢の強化、適時・適切な情報開示に取り組んでいます。



コーポレート・ガバナンス体制(2013年6月末現在)

内部統制システム

「内部統制システム構築に関する基本方針」に基づいて、業務の適正を確保する体制を整えています。

経営管理部内に設置された「内部統制グループ」が、当行グループの「内部統制報告書」を事業年度ごとに提出し、財務情報の信頼性を高めるための体制構築に取り組んでいます。

リスクの把握と管理

当行は「自分の城は自分で守る」という自己責任原則に基づき、複雑化するリスクを把握し、適切な管理を行うための体制を構築しています。具体的には、取締役会において定めた「リスク管理規程」に基づき、経営管理部が一元的に管理しています。

特に、当行は信用リスクを最も重要なリスクとして認識し、当行独自の「企業格付制度」を導入、2007年には「基礎的内部格付手法」*を採用するなどリスク管理の高度化を図っています。

*「基礎的内部格付手法」

国際決済銀行により公表された、銀行の自己資本比率に関する国際ルール。

コンプライアンス態勢



企業が社会的責任を果たすうえで重要なことは、法令の遵守はもちろんのこと、「倫理観」を持って行動し、誠実な企業活動を行うことです。

当行では経営管理部「法務室」を中心に、法令遵守、適正な銀行経営を継続する体制づくり、高い倫理観を持つ行員の育成に取り組んでいます。

Voice! コンプライアンスオフィサーの声

支店でのコンプライアンス研修時には、「よき銀行員である前によき常識人であれ」という意識づけを念頭においています。さまざまな事象を紹介した時の皆のきらきらした目が毎回見られるように、わかりやすく心に残る研修を心がけています。倫理観ある社会人であり続け、更なるコンプライアンスのレベルアップを図っていきます。

石山支店 萬宮 美紀子



個人情報保護の取り組み



お客様の個人情報を厳格に取り扱うために「個人情報保護方針」を制定しています。また、業務統轄部内に「情報管理室」を設置し、当行の情報セキュリティに対する体制の整備や情報を適切に管理するための対策の立案、指導等を行っています。また、「情報セキュリティ委員会」を設け、情報セキュリティ向上に必要な施策等を検討しています。

反社会的勢力排除の取り組み



「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針(政府指針)」に基づき、反社会的勢力との取引排除に取り組むため「滋賀銀行 反社会的勢力排除規定」を制定しています。規定では、取引名義人が反社会的勢力に該当する場合は取引を停止・解約することを定めています。

また、普通預金をはじめとする取引の申込時には、お客さまから「反社会的勢力でない旨」の表明、確約をいただいています。